



小型動力ポンプ

質疑

土木費

現在までの除雪費は

議員 2月に入って急激に降雪量が増え、豪雪となったが、現在までの除雪費を伺う。

当局 2000万円の補正をして1億7000万円の委託料となっている。

2月末時点で89%の支払率になっている。

除雪の出勤回数は

議員 東西間の降雪量の相違から、除雪出勤回数も違うと思うが、実状を伺う。

当局 地域により積雪量が違うのは認識しているが、除雪回数には大差はない。しかし、川西地区の方が除雪に要する時間が長くなり、業者への支払額も多くなっている。

路線変更の要望は

議員 公共事業が少なくなっているなか、建設業者などには、冬期間の除雪作業が収入源の一つになっているようだが、路線変更の要望などはあるか。

当局 事業者は、地域性やエリア内の状況をよく理解している区域を担当したいものと理解している。

災害時のマニュアル作成の内容は

議員 災害時のマニュアル作成とあるが内容を伺う。

当局 町民の方が具体的にどのような行動をとつたらいいのかを示すマニュアルを作成するもの。

軽積載車の増設の計画は

議員 現在の軽積載車配備状況と、今後の増

設の計画を伺う。

当局 15台配備している。白鷹町消防計画に基づき出勤範囲を含めて、自動車ポンプ、全自動積載車、軽積載車、小型動力ポンプそれぞれの役割分担をしている。

軽トラックの借用は

議員 小型動力ポンプを火災現場まで運搬するための軽トラックの調達が困難になっていると聞いてい

る。災害に備える環境整備が必要不可欠だと思うが、今後、軽トラックの借用などを行政が指導していく考えはあるか。

当局 実際、機動力の部分で課題があることは認識している。消防計画に基づいて、随時、見直しをするなど、実態をふまえた適切な対応を行う。



除雪作業風景